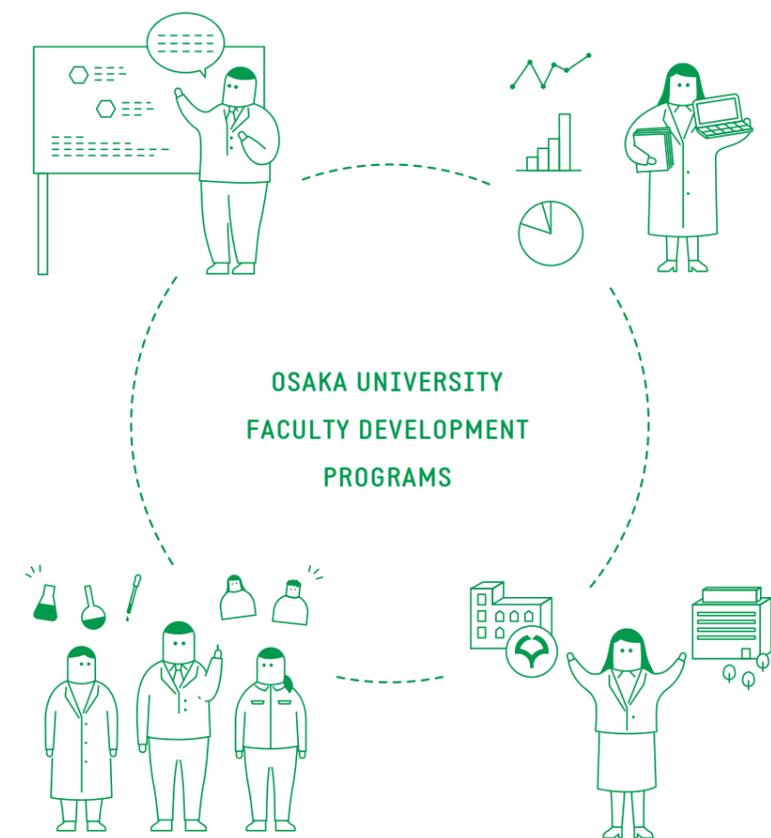


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



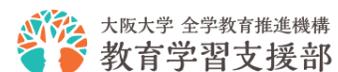
お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行元

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 豊中キャンパス
全学教育総合棟Ⅱ4階417
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>



2020 年度

10 月～3 月

大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要です。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力

開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

研究能力

開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力

開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

社会学連携能力

開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。



新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取り組みのさらなる向上を目指しています。

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大により、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取り組みを行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2020年後期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)
田中敏宏

大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部(旧:教育学習支援センター)では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。受講者は大阪大学CLEにおいて受講時間数(FDポイント)と、受講時間数によって色が変わるFDバッジを確認することができます。また、教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、30時間ごとに修了証明書を発行します(上限120時間)。

FDバッジの確認方法



1. CLEに阪大IDでログインする。
2. コミュニティから「教育学習支援コモンズ(TLSC)FD」をクリックする。
3. 左側の「FDバッジの確認」をクリックする

FDバッジの種類



研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは以下の通り各プログラムを受講してください。

- ▶ 教育能力 開発プログラム 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム あわせて6時間以上

新制度

「未来の大学教員養成プログラム」等
ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム(大学院生を対象とした教育能力開発プログラム)を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

研修プログラム一覧〈令和2年度下期(2020.10～2021.3)開催分〉

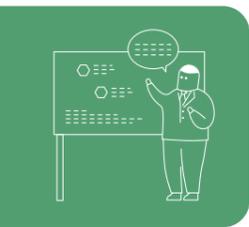
カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
10月									
教育	P.6	—	学生の不適応	オンライン	10月6日 10:30-12:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.6	—	大学におけるカルト問題	オンライン	10月6日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.6	—	ノートPCでできる動画教材作成法	オンライン	10月6日 16:50-18:20	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.7	—	1時間でマスター! 授業をキャリア教育化する10の秘訣	オンライン	10月8日 12:15-13:15	1	200名	日本語	キャリアセンター 全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	10月8日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.6	○	メディア授業の現状と今後への対策	豊中又はオンライン	10月8日 17:00-18:00	1	100名	日本語	文学研究科
マネジメント	P.19	○	コンプライアンス講習会	吹田	10月9日 13:30-14:30	1	70名	日本語	工学研究科
教育	P.7	—	グループ学習を授業に導入する	オンライン	10月13日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.7	—	オンラインビデオ教材作成法 初級編	オンライン	10月15日 13:30-15:00	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.7	—	オンライン授業を実践する上での基本的なポイント	オンライン	10月16日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
社会学連携	P.17	—	研究成果を発信する方法-日本における研究広報の実態-	吹田	10月16日 15:00-16:00	1	40名	日本語	免疫学フロンティア研究センター
教育	P.7	—	オンライン授業を実践する上での基本的なポイント	オンライン	10月19日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.8	—	ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)	吹田	10月21日 13:30-16:00	2.5	30名	日本語	工学研究科
社会学連携	P.17	—	研究成果を発信する方法-日本における研究広報の実態-	豊中	10月21日 15:00-16:00	1	20名	日本語	免疫学フロンティア研究センター
教育	P.8	—	障がい学生や就職困難な学生のキャリア・就職支援(精神障害・発達障害のある方への対応)	オンライン	10月23日 10:45-11:45	1	200名	日本語	キャリアセンター キャンパスライフ健康支援センター
研究	P.14	○	研究倫理教育及び研究費不正使用防止に関する説明会	吹田	10月27日 14:00-15:15	1.25	130名	日本語	産業科学研究所
教育	P.8	—	教育の存在意義について考える	オンライン	10月29日 11:30-13:30	2	20名	日本語	COデザインセンター
教育	P.8	—	オンラインビデオ教材作成法 中級編	オンライン	10月29日 13:30-15:00	1.5	30名	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.8	○	FD研修会	吹田又はオンライン	10月	各回1	60名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.19	—	新入教職員安全衛生講習会	オンライン	10月	2.25	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIM)の利用について	オンライン	10月	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	実験系廃液・排水の取扱い	オンライン	10月	0.83	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	非化学系のための化学薬品取扱講習	オンライン	10月	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	詳解:化学物質安全取扱講習	オンライン	10月	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター豊中分室編)	オンライン	10月	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター吹田分室編)	オンライン	10月	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	オンライン	10月	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.20	—	電気コンセントと電気配線の安全講習	オンライン	10月	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	—	ハラスメント防止等に関する研修会	豊中	10月~11月 (日時未定)	2	100名	日本語	人権問題委員会
11月									
教育	P.9	—	研究室不登校の学生へのアプローチ	吹田	11月5日 13:30-15:30	2	30名	日本語	工学研究科
教育	P.9	—	研究室不登校の学生へのアプローチ	オンライン	11月5日 13:30-15:30	2	100名	日本語	工学研究科
教育	P.9	—	障がいのある学生(障がい特性のある学生を含む)のキャリア・就職支援	オンライン	11月5日 13:30-14:30	1	200名	日本語	キャリアセンター キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.9	—	障がい学生支援	オンライン	11月6日 13:30-15:00	1.5	100名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
マネジメント	P.19	○	コンプライアンス講習会	吹田	11月9日 13:30-14:30	1	70名	日本語	工学研究科
社会学連携	P.17	—	研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用	豊中	11月9日 14:00-15:30	1.5	10名	日本語	総合学術博物館
研究	P.14	—	日本の科学技術政策の現在と課題 —科学技術基本法改正を中心に	オンライン	11月10日 13:30-15:00	1.5	50名	日本語	社会技術共創研究センター
マネジメント	P.21	○	2020年度 ハラスメント防止研修会	豊中	11月12日 17:30-19:00	1.5	100名	日本語	文学研究科
研究	P.14	—	研究評価を知る—日本の制度と海外の状況	オンライン	11月17日 13:30-15:00	1.5	50名	日本語	社会技術共創研究センター
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	11月17日 15:10-16:40	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
マネジメント	P.21	—	大学におけるキャリア教育・就職支援の現状と課題	オンライン	11月19日 12:15-13:15	1	200名	日本語	キャリアセンター
マネジメント	P.21	○	言語文化研究科ハラスメント防止研修会	豊中	11月19日 15:10-15:40	0.5	未設定	日本語	言語文化研究科
教育	P.9	—	自閉症スペクトラム障害の学生への対応について	吹田	11月24日 13:30-15:30	2	30名	日本語	工学研究科
教育	P.9	—	自閉症スペクトラム障害の学生への対応について	オンライン	11月24日 13:30-15:30	2	100名	日本語	工学研究科
社会学連携	P.17	—	大阪大学の歴史	豊中	11月24日 15:30-17:00	1.5	40名	日本語	アーカイブズ
教育	P.10	—	学生の心理	オンライン	11月26日 15:00-16:30	1.5	20名	日本語	キャンパスライフ健康支援センター
教育	P.10	—	シラバスの書き方	オンライン	11月26日 15:10-16:40	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部

※掲載内容は8月5日時点の情報です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドاي」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
11月									
研究	P.14	○	蛋白研コロキウム	吹田又はオンライン	11月	各回0.5	60名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.21	○	蛋白研防災安全講習会	吹田又はオンライン	11月頃	1	200名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.22	○	コンプライアンス講習会	吹田又はオンライン	11月頃	各回1	60名	日本語	蛋白質研究所
12月									
教育	P.10	—	ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【知識編】	オンライン	12月3日 12:15-13:15	1	200名	日本語	キャリアセンター
教育	P.10	—	研究室の教育指導	オンライン	12月7日 13:00-15:00	2	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
マネジメント	P.22	○	コンプライアンス講習会	吹田	12月7日 13:30-14:30	1	70名	日本語/English	工学研究科
教育	P.10	—	シラバスの書き方	オンライン	12月8日 15:10-16:40	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.11	—	オンライン授業で評価をするためのポイント	オンライン	12月10日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.11	—	オンライン授業で評価をするためのポイント	オンライン	12月14日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.11	—	ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【指導編】	オンライン	12月17日 12:15-13:15	1	200名	日本語	キャリアセンター
教育	P.10	—	研究室の教育指導	オンライン	12月17日 13:00-15:00	2	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.11	—	問題解決を身に付けさせるための 数値・データ科学・AIの教育入門	豊中	12月21日 14:00-15:30	1.5	30名	日本語	数値・データ科学教育研究センター
教育	P.8	○	FD研修会	吹田又はオンライン	12月	各回1	60名	日本語	蛋白質研究所
1月									
研究	P.14	○	蛋白研コロキウム	吹田又はオンライン	1月	各回0.5	60名	日本語	蛋白質研究所
2月									
教育	P.12	—	授業づくりワークショップ	オンライン	2月8日~2月9日 各日10:00-18:00	20	4~16名	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.12	—	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	オンライン	2月8日 13:00-14:30	1.5	20名	日本語	国際教育交流センター キャリアセンター
教育	P.6	—	ノートPCでできる動画教材作成法	オンライン	2月15日 16:50-18:20	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.7	—	グループ学習を授業に導入する	オンライン	2月19日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P.8	○	FD研修会	吹田又はオンライン	2月	各回1	60名	日本語	蛋白質研究所
社会学連携	P.17	—	科学技術コミュニケーションをデザインする	オンライン	2月中旬	3	20名	日本語	COデザインセンター
マネジメント	P.22	○	ハラスメント防止に関する講習会	吹田	2月下旬 14:00-15:30	1.5	50名	日本語	産業科学研究所
3月									
研究	P.14	○	蛋白研コロキウム	吹田又はオンライン	3月	各回0.5	60名	日本語	蛋白質研究所
定期・不定期・複数月開催									
教育	P.12	—	コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—	オンライン	随時受付	1	各回数 程度	日本語	全学教育推進機構教育学習支援部
研究	P.14	—	An introduction to research funding schemes in Japan and Kakenhi Application: (日本の研究助成金制度及び科研費の申請について)	オンライン	10月1日~	1	未設定	English	経営企画オフィス URA 部門
研究	P.15	—	[英語論文執筆・発表における基礎知識]研修シリーズ	オンライン	10月1日~	6.25	未設定	English	経営企画オフィス URA 部門 附属図書館
研究	P.15	—	学術論文発表を取り巻く最新動向: オープンアクセスの現在	オンライン	10月1日~	2.5	未設定	日本語	経営企画オフィス URA 部門 附属図書館 研究推進部
研究	P.15	—	アドバンスセミナー	吹田	毎月1回(3月を除く): 16:00-17:00	各回1	未設定	日本語/English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	微研集談会	吹田	毎月第4火曜日 (12-1月を除く): 16:00-17:00	各回1	未設定	日本語/English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.16	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	吹田	2-3月に 4回開催	1.5 x4回	20名	English	微生物病研究所
社会学連携	P.18	—	映画「共産と1,000人の若ものたち」鑑賞と解説	オンライン	10月~3月(随時)	1.5	未設定	日本語	適塾記念センター
未定									
教育	P.13	○	医学科FDプログラム (国家試験・CBTに基づいた選択肢問題の作成方法)	吹田	未定	1	50名	日本語	医学系研究科
教育	P.13	—	授業支援システム(CLE)入門講座	豊中	未定	1.5	各回20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	—	授業支援システム(CLE)入門講座	吹田	未定	1.5	各回20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	—	授業支援システム(CLE)応用講座	豊中	未定	1.5	各回20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	—	授業支援システム(CLE)応用講座	吹田	未定	1.5	各回20名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	—	エコア アクティブラーニング プラットフォーム(EchoALP) を用いた講義映像・講義資料配信とその応用	豊中	未定	1.5	各回30名	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	—	エコア アクティブラーニング プラットフォーム(EchoALP) を用いた講義映像・講義資料配信とその応用	吹田	未定	1.5	各回30名	日本語	サイバーメディアセンター
社会学連携	P.18	○	プレスリリース講習会	吹田	未定	1.5	40名	日本語	産業科学研究所
社会学連携	P.18	—	新任教員向け適塾見学会~阪大の歴史を辿る~	吹田	未定	1.5	25名	日本語	適塾記念センター
社会学連携	P.18	—	適塾から受けつぐレガシー-歴史・精神・文化財-	吹田	未定	2.5	40名	日本語	適塾記念センター
マネジメント	P.22	○	キャンパスハラスメントに関する研修会	箕面	未定	1	100名	日本語	言語文化研究科・外国語学部



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

ノートPCでできる動画教材作成法

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)
浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)

オンライン 10月6日 16:50-18:20、2月15日 16:50-18:20

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にeラーニング教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ(内蔵or外付け)を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用の他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のノートパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業等での活用方法をご検討いただきます。

*当日はノートパソコン(WindowsもしくはMac)および大阪大学個人ID・パスワードをご準備下さい。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



学生の不適応

講師：水田一郎(キャンパスライフ健康支援センター 教授)

オンライン 10月6日 10:30-12:00

〈キーワード〉心理的問題、環境ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉まず、上記テーマ(学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応)について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp



大学におけるカルト問題

講師：太刀掛俊之(キャンパスライフ健康支援センター 教授)

オンライン 10月6日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉上記のテーマについて講義形式で学びます。後半においては、他大学の事例も紹介しながら、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp



アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

オンライン 10月8日 13:30-15:00、11月17日 15:10-16:40

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる方法を説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせるアクティブ・ラーニング型授業をデザインするワークを行います。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



限定 文学研究科のみ対象

メディア授業の現状と今後への対策

講師：岩崎千晶(関西大学 准教授)

豊中 オンライン 10月8日 17:00-18:00

〈キーワード〉メディア授業、学生アンケートの結果、教育方法、学生支援

〈概要〉メディア授業における学生の状況や支援という切り口から、春・夏学期のメディア授業をふりかえる。

《問合せ先：文学研究科庶務係》bunsouhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp



1時間でマスター！授業をキャリア教育化する10の秘訣

講師：家島明彦(キャリアセンター 准教授)

オンライン 10月8日 12:15-13:15

〈キーワード〉キャリア教育

〈概要〉2011年度の大学設置基準の改正(42条の2新設)で「キャリア教育の義務化」が行われ、認証評価でもキャリア教育の観点からチェックがなされると言われていますが、「キャリア教育とは何か?どのように実施すればよいのか?」を学ぶ機会は少なかったのではないのでしょうか?本セミナーでは、キャリア教育の定義や導入背景、大学の授業における具体的な実践方法(授業をキャリア教育化する方法)について学びます。

《問合せ先：キャリアセンター》fd@career.osaka-u.ac.jp

《受講申込：https://zoom.us/webinar/register/WN_b2z7CR4BTrKwhCHRDp_PNA》 申込はこちらから▶



グループ学習を授業に導入する

講師：西森年寿(人間科学研究科 教授)

大山牧子(全学教育推進機構 助教)

オンライン 10月13日 13:30-15:00、2月19日 13:30-15:00

〈キーワード〉グループ学習、授業デザイン、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニング型の授業が注目されています。アクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのように取り入れて良いのかお困りではないですか?本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明するとともに、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



オンラインビデオ教材作成法 初級編

講師：権藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 10月15日 13:30-15:00

〈キーワード〉e-ラーニング、オンデマンド講義、MOOC、メディア授業

〈概要〉新型コロナウイルスの影響によるメディア授業への対応として、講義ビデオを作成して授業を実施する機会が増えています。本セミナーでは、オンラインビデオ教材作成法の【初級編】として、パワーポイントを使った講義動画の作成方法を中心に、スライド作成の際の注意点や著作権への配慮、動画作成の際の機材選びなどについてレクチャーします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



オンライン授業を実践する上での基本的なポイント

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンライン 10月16日 12:15-13:15、10月19日 12:15-13:15

〈キーワード〉オンライン授業、学習目標、ブレンDED学習

〈概要〉本セミナーは次の2部構成となっております。

1. レクチャータイム：オンライン授業を実践し始めた方向けに、実践上の基本的なポイントを解説いたします。私たちが開発した「授業をオンライン化するための10のポイント」を教材として使用いたします。<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/onlinelecture/tips01.html>
2. 相談タイム：参加者から寄せられた質問に対応いたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp



※掲載内容は8月5日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。





教育能力 開発プログラム

ストレスの弊害と対処法（中医学的視点から）

講師：中本かよ（大阪漢方医学振興財団理事長 医師）

吹田 10月21日 13:30-16:00

〈キーワード〉 ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア

〈概要〉 まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、ストレス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療体操について学びます。

《問合先：工学研究科コンプライアンス室 尾上満理》 [✉ onoue@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:onoue@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)



障がい学生や就職困難な学生のキャリア・就職支援（精神障害・発達障害のある方の対応）

講師：池田浩之（兵庫教育大学 助教）

オンライン 10月23日 10:45-11:45

〈キーワード〉 就職支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障害、発達障害

〈概要〉 精神障害・発達障害のある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境（企業）への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学（認知行動療法）の専門であるため、心理的支援を中心にお伝えします。

《問合先：キャリアセンター》 [✉ fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)

《受講申込： https://zoom.us/webinar/register/WN_LloYMGb1SvmFSItGUx7LFQ》

申込はこちらから▶



オンラインビデオ教材作成法 中級編

講師：権藤千恵（全学教育推進機構 特任研究員）

オンライン 10月29日 13:30-15:00

〈キーワード〉 e-ラーニング、オンデマンド講義、ストリーミング配信、MOOC、メディア授業

〈概要〉 新型コロナウイルスの影響によるメディア授業への対応として、講義ビデオを作成して授業を実施する機会が増えています。本セミナーでは、オンラインビデオ教材作成法の【中級編】として、YouTubeやVimeoなどの動画配信プラットフォームを活用したビデオ講義動画の活用方法やYouTube Liveの運用方法や必要な機材など、オンラインビデオ教材を活用する上で役に立つノウハウを紹介していきます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)



教育の存在意義について考える

講師：池田光穂（CO デザインセンター 教授）

オンライン 10月29日 11:30-13:30

〈キーワード〉 ポスト産業社会、高等教育、成人教育、イヴァン・イリッチ、大学解体論

〈概要〉 『脱学校の社会』（Deschooling society, 1971）を書いたイヴァン・イリッチをご存知でしょうか？学校教育批判において第三世界の視座を踏まえた最も秀逸なものでした。その後、問題に基づく学習（PBL）やアクティブラーニングの登場、学習環境を変えたインターネットなどのドラスティックな変化がありました。全体でのグループ議論を通して、今日の大学教育の意義について反省的に考え、皆さんの様々な意見交換の場にしたいと思います。今年度は新型コロナ流行下における大学教育改革について考えます。

《問合先：全学教育推進機構等事務部（CO デザインセンター総務担当）》 [✉ zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp)



限定 蛋白質研究所のみ対象

FD研修会

講師：各回によって異なる

吹田 **オンライン** 10月、12月、2月

〈キーワード〉 教育、研究、蛋白質

〈概要〉 学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館講堂また大会議室で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所庶務係》 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)



研究室不登校の学生へのアプローチ

講師：根岸和政（コンプライアンス室 講師）

吹田 **オンライン** 11月5日 13:30-15:30

〈キーワード〉 研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉 研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が望まれる。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加する。この観点から基本的な対応法を紹介する。

《問合先：工学研究科コンプライアンス室 尾上満理》 [✉ onoue@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:onoue@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)



障がいのある学生（障がい特性のある学生を含む）のキャリア・就職支援

講師：村田淳（京都大学 学生総合支援センター 准教授）

オンライン 11月5日 13:30-14:30

〈キーワード〉 就職支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉 障害者差別解消法（2016年4月施行）により、国公立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。

《問合先：キャリアセンター》 [✉ fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)

《受講申込： https://zoom.us/webinar/register/WN_dZNa9hfoRa6Ouel1HsscSw》

申込はこちらから▶



障がい学生支援

講師：望月直人（キャンパスライフ健康支援センター 准教授）

安永正則（キャンパスライフ健康支援センター 助教）

前田由貴子（キャンパスライフ健康支援センター 特任助教）

樋口隆太郎（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）

楠敬太（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）

森千夏（キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員）

オンライン 11月6日 13:30-15:00

〈キーワード〉 心理的問題、精神疾患、発達障がい、身体障がい、合理的配慮

〈概要〉 まず、上記テーマ（学生の陥りやすい不応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応）について講義形式で学びます。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深めます。

《問合先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係》 [✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)



自閉症スペクトラム障害の学生への対応について

講師：望月直人（キャンパスライフ健康支援センター 准教授）

吹田 **オンライン** 11月24日 13:30-15:30

〈キーワード〉 自閉症スペクトラム障害、教育指導

〈概要〉 自閉症スペクトラム障害の原因を理解し、教育現場で出来ることを模索する。

《問合先：工学研究科コンプライアンス室 尾上満理》 [✉ onoue@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:onoue@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月5日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD関係）にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

シラバスの書き方

講師：大山牧子(全学教育推進機構 助教)



未設定 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 11月26日 15:10-16:40、12月8日 15:10-16:40

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。

*参加者はご自身のシラバス（どれか1つ）をご持参ください（ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください）。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

学生の心理

講師：石金直美(キャンパスライフ健康支援センター 准教授)

20名 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 11月26日 15:00-16:30

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉まず上記のテーマについて講義形式で学びます。後半は模擬事例を用いてディスカッションや簡単なロールプレイを行います。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 ✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援 【知識編】

講師：吉田耕治



200名 1時間 日本語 オンライン

(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンライン 12月3日 12:15-13:15

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

《問合せ先：キャリアセンター ✉ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《受講申込： https://zoom.us/webinar/register/WN_6G4fbYBNREWTVZdT4GcQgA》 申込はこちらから ▶

研究室の教育指導

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)



未設定 2時間 日本語 オンライン

橋爪章仁(理学研究科 高分子科学専攻 教授)

オンライン 12月7日 13:00-15:00、12月17日 13:00-15:00

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念(ラボ・ポリシー)

〈概要〉ゼミや研究室での論文指導などはうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念(ラボ・ポリシー)の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例などを通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

オンライン授業で評価をするためのポイント

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)



未設定 1時間 日本語 オンライン

オンライン 12月10日 12:15-13:15、12月14日 12:15-13:15

〈キーワード〉オンライン授業、学習評価

〈概要〉本セミナーは次の2部構成となっております。

1. レクチャータイム：オンライン授業を実践し始めた方向けに、実践上の基本的なポイントを解説いたします。私たちが開発した「オンラインで学習を評価するための10のポイント」を教材として使用いたします。
<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/onlinelecture/tips02.html>
2. 相談タイム：参加者から寄せられた質問に対応いたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☎ <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> ✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援 【指導編】

講師：松尾誠二



200名 1時間 日本語 オンライン

(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 取締役 COO)

オンライン 12月17日 12:15-13:15

〈キーワード〉博士、企業、就職支援、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士課程学生の就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦勞する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に、民間企業就職を希望する博士課程学生に対してアドバイスをする方法(コーチング・スキルやコミュニケーション・スキルを含む)を学びます。

《問合せ先：キャリアセンター ✉ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《受講申込： https://zoom.us/webinar/register/WN_ae_JmFQRQ2Sf7LBy8ZC5Gw》 申込はこちらから ▶

問題解決を身に付けさせるための数理・データ科学・AIの教育入門

講師：高野渉(数理・データ科学教育研究センター 特任教授)

30名 1.5時間 日本語 対面

豊中 12月21日 14:00-15:30

〈キーワード〉統計、データ科学、機械学習、プログラミング

〈概要〉数学・統計・情報理論を融合したデータ科学的アプローチは、昨今の複雑な産業・経済・社会問題を解明する方法論として認知されてきています。教育研究機関である大学教育にも、データ科学的思考を身に付けた学生を輩出する要請が高まりつつあります。本研修プログラムでは、実際の講義題材を利用しながら、データ科学にて抑えておくべき統計的な考え方やデータ解析の方法の基礎について学びます。

《問合せ先：数理・データ科学教育研究センター ✉ mmds-jim@sigmath.es.osaka-u.ac.jp》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月5日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)
村上正行(全学教育推進機構 教授)
浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)
根岸千悠(全学教育推進機構 特任助教)
楠本真二(全学教育推進機構 / 情報科学研究科 教授)



4~16名 20時間 日本語 オンライン

《オンライン》 2月8日~2月9日 各日10:00-18:00

《キーワード》 コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

《概要》本ワークショップでは、2日間で学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。今年度初めてオンライン授業を実施することとなった方も多いため、対面授業をどのようにオンライン授業に移行していけば良いのか？オンライン授業と対面授業をどのように組み合わせたら良いのか？今回の授業づくりワークショップでは、通常の内容に加え、オンライン時代の授業づくりを検討します。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイデアを練ることで、授業のさらなる質向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブ・ラーニング、学習評価、ルーブリック評価を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。

- * パソコン及び改善したいシラバスをご準備ください。
- * 全課程修了後に修了証が授与されます。
- * 2日間の通し研修となりますので、途中からの参加・退出はご遠慮ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp

外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法

講師：魚崎典子(国際教育交流センター 特任准教授)



20名 1.5時間 日本語 オンライン

《オンライン》 2月8日 13:00-14:30

《キーワード》 外国人留学生、キャリアサポート、就職支援

《概要》政府は「日本再興戦略2016」を提言し、外国人留学生の日本国内での就職率を現状の3割から5割に向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を一層困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。

《問合せ先：国際教育交流センター》 career@ciece.osaka-u.ac.jp

《受講申込：https://zoom.us/webinar/register/WN_96FMZu4VT0uxofCj41NMfA》 申込はこちらから

コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

各回
数名程度 1時間 日本語 オンライン

《オンライン》 随時受付

《キーワード》 授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

《概要》授業デザインやシラバス、教授法、評価などに関する様々なご相談を承っております。

- 【これまでのご相談例】・授業中に質問しても学生の反応がない
- ・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
 - ・英語での講義を担当することになったが、不安である
 - ・研究室をうまくマネジメントできない
- ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 <http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/> tlsc@celas.osaka-u.ac.jp

《限定》 医学系研究科のみ対象

医学科FDプログラム (国家試験・CBTに基づいた選択肢問題の作成方法)

50名 1時間 日本語 対面

講師：未定

《吹田》 未定

《キーワード》 選択肢問題の作成方法

《概要》医師国家試験・CBTで求められる選択肢問題の作成基準をもとに、作問の基本的ルールを解説します。

《問合せ先：医学系研究科総務課庶務係》 i-soumu-syomu@office.osaka-u.ac.jp

授業支援システム (CLE) 入門講座

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他



各回
20名 1.5時間 日本語 対面

《豊中》 《吹田》 未定

《キーワード》 授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

《概要》授業支援システムCLEを実際に操作しながらその機能について学ぶ。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp

授業支援システム (CLE) 応用講座

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他



各回
20名 1.5時間 日本語 対面

《豊中》 《吹田》 未定

《キーワード》 授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

《概要》授業支援システムCLEを実際に操作しながらその機能について学ぶ。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp

エコー アクティブラーニングプラットフォーム (Echo ALP)を用いた講義映像・講義資料配信と その応用

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他



各回
30名 1.5時間 日本語 対面

《豊中》 《吹田》 未定

《キーワード》 授業支援システム、講義映像収録配信、アクティブラーニング

《概要》Echo ALPを実際に操作しながら講義映像配信、講義資料の配信、およびアクティブラーニング機能の利用方法について学ぶ。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

限定 産業科学研究所のみ対象

研究倫理教育及び研究費不正使用防止に関する説明会

講師：関野徹(産業科学研究所所長 教授)
沼尾正行(研究倫理委員会委員長 教授)

吹田 **10月27日 14:00-15:15**

〈キーワード〉研究倫理、研究費不正使用防止、コンプライアンス教育

〈概要〉研究所長及び研究倫理担当教授による講義後、事務担当者からの補足説明を行う。

《問合先：産業科学研究所 総務課総務係》 [✉ sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp)

130名 1.25時間 日本語 対面

日本の科学技術政策の現在と課題 —科学技術基本法改正を中心に—

講師：標葉隆馬(社会技術共創研究センター 准教授)

オンライン **11月10日 13:30-15:00**

〈キーワード〉科学技術政策、科学技術基本法、科学技術・イノベーション基本法、科学技術基本計画

〈概要〉日本の科学技術政策の歴史と現状を概観し、科学技術基本法の改正(科学技術・イノベーション基本法)によって生じる影響を理解することで、今後の研究活動環境・競争的資金の変化に関わる理解の基礎を構築します。

《問合先：社会技術共創研究センター》 <https://elsi.osaka-u.ac.jp/> [✉ ikedam@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ikedam@office.osaka-u.ac.jp)

50名 1.5時間 日本語 オンライン

研究評価を知る—日本の制度と海外の状況

講師：標葉隆馬(社会技術共創研究センター 准教授)

オンライン **11月17日 13:30-15:00**

〈キーワード〉研究評価制度、科学技術政策

〈概要〉日本の研究評価制度の現状を概観したうえで、国内外で導入されつつある研究評価の新しい視点(インパクト評価など)について知り、今後の研究評価制度の変化に対する理解を獲得します。

《問合先：社会技術共創研究センター》 <https://elsi.osaka-u.ac.jp/> [✉ ikedam@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ikedam@office.osaka-u.ac.jp)

50名 1.5時間 日本語 オンライン

限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 **オンライン** **11月、1月、3月**

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学

〈概要〉研究者間の研究交流促進により世界レベルで活躍できる研究者の育成のため、主に所内教員による専門分野に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所庶務係》 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)

60名 各回0.5時間 日本語 対面/オンライン

An introduction to research funding schemes in Japan and Kakenhi Application (日本の研究助成金制度及び科研費の申請について)

Instructor：Tomoko Ohya (Specially Appointed Associate Professor, Office of Management and Planning)
Xin Yao (Specially Appointed Associate Professor, Office of Management and Planning)
Andrew Morrison (Specially Appointed Academic Policy Researcher, Office of Management and Planning)

Online **From October 1**

〈Keywords〉Research funding system in Japan, KAKENHI, research support, URA

〈Overview〉Designed for international faculty who just started their research career in Osaka University, the training workshop begins with an overview of research funding schemes in Japan, with a focus on KAKENHI; introduction to research support by URAs in Osaka University, including funding application support, follows next; after that, basic techniques of grant writing are to be introduced.

《Contact：Research Management and Administration Section, Office of Management and Planning》 [✉ ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp](mailto:ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp)

unlimited 1 hour English Online

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

「英語論文執筆・発表における基礎知識」研修シリーズ

講師：David Kipler(カクタス・コミュニケーションズ株式会社)

オンライン **10月1日～**

〈キーワード〉論文、英語アカデミック・ライティング、研究発表

〈概要〉以下8つのテーマからなる本研修シリーズは、英語論文の執筆、投稿、発表等に関する基礎知識を学ぶことを目的とする。 ※各セミナーは単独でも受講可能

セミナー1(時間数0.75):英語を母語としない研究者がおさえるべき句読点のポイント

セミナー2(時間数0.55):英語論文執筆における重要な文法と表現

セミナー3(時間数1.00):英語論文を執筆・修正する際のコツ

セミナー4(時間数0.75):英語論文執筆に役立つリソース

セミナー5(時間数0.85):英語論文における図表の作成手法

セミナー6(時間数0.75):効果的なカバーレター執筆と査読対策

セミナー7(時間数0.85):国際的な出版倫理

セミナー8(時間数0.75):効果的な英語研究プレゼンテーション

《問合先：経営企画オフィス URA 部門》 [✉ ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp](mailto:ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp)

未設定 6.25時間 English オンライン

学術論文発表を取り巻く最新動向： オープンアクセスの現在

講師：船守美穂(国立情報学研究所 准教授)

佐藤翔(同志社大学 准教授)

三木保孝(大阪大学附属図書館 専門職員)

オンライン **10月1日～2021年3月31日**

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料(APC)を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、いわゆるハゲタカジャーナルの出現など、大きく変わりつつある学術情報流通のなかで、研究者の研究業績につながる学術論文発表のあり方や研究業績の考え方は大きく影響を受けている。本研修では、そうした学術論文発表を取り巻く問題状況を把握し、オープンアクセス化の潮流のなかにおける個々の研究者および大学の対応を模索していきたい。

《問合先：経営企画オフィス URA 部門》 [✉ ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp](mailto:ura-training@lserp.osaka-u.ac.jp)

未設定 2.5時間 日本語 オンライン

アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 **毎月1回(3月を除く) 16:00-17:00**

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。本セミナーシリーズ開催により、所内所属を含む特に若手研究者の知見向上を目指し、学内外の研究交流促進と活性化により、広い視野を持った研究者の育成をめざす。

《問合先：微生物病研究所企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)

未設定 各回1時間 日本語/English 対面

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、及び医学系研究科のみ対象

微研集談会

講師：各回により異なる

吹田 **毎月第4火曜日(12・1月を除く) 16:00-17:00**

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。本セミナー開催により、所内所属を含む大学院生や若手研究者の研究発表能力およびディスカッション能力の向上を図り、さらに広い視野を持った次世代を担う研究者の育成を目指す。

《問合先：微生物病研究所企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)

未設定 各回1時間 日本語/English 対面

※掲載内容は8月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

限定 微生物病研究所のみ対象

RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Neville Greening(言語文化研究科 非常勤講師)

吹田 2-3月に4回開催

〈キーワード〉研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉英語による学術論文の投稿について基礎から学びます。またライティングスキルだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶことができます。

《問合先：微生物病研究所企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)



研究成果を発信する方法 ー日本における研究広報の実態ー

講師：坂野上淳(免疫学フロンティア研究センター 特任教授)

吹田 10月16日 15:00-16:00

豊中 10月21日 15:00-16:00

〈キーワード〉研究広報、プレスリリース、サイエンスライティング

〈概要〉大阪大学の研究成果がしばしばメディアに取り上げられますが、それらはどのような手順で掲載・放送に至るのでしょうか？研究者はどのように情報発信するのが自らの研究を効果的にアピールできるのでしょうか？日本と海外の比較も含め伝えます。

《問合先：免疫学フロンティア研究センター企画室》 [✉ j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp](mailto:j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp)



研究・教育のアウトリーチ活動における 大学博物館の活用

講師：伊藤謙(総合学術博物館 特任講師)

橋爪節也(総合学術博物館 教授)

豊中 11月9日 14:00-15:30

〈キーワード〉アウトリーチ、大学博物館、研究、教育

〈概要〉昨今、大学教職員の社会貢献の必要性が重要視され、教育や研究のアウトリーチ活動が必須となっている。本学では研究や教育のアウトリーチの場として、大学博物館を活用しており、その方法は、展覧会、シンポジウム、ミュージアムレクチャーと多岐に渡る。本研修では、実例を踏まえ、メソッドや考え方を習得する。具体的には、担当講師が代表者を務める日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽)17K18512：研究代表者 伊藤謙における研究成果のアウトリーチ活動の一環として開催した2020年秋季展覧会「CHINA GRAPHY-日本のまなざしに映った中国-」などを紹介した後同展を見学し、実際のなアプローチについての解説を行う。
なお、新型コロナウイルスの影響により対面での実施ができない場合は、オンラインにて研修を行う。

《問合先：共創推進部博物館・適塾記念センター事務室総務係》 [✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)



大阪大学の歴史

講師：菅真城(アーカイブズ 教授)

豊中 11月24日 15:30-17:00

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《問合先：総務部総務課文書管理係》 [✉ souki-soumu-bunsyo@office.osaka-u.ac.jp](mailto:souki-soumu-bunsyo@office.osaka-u.ac.jp)



科学技術コミュニケーションをデザインする

講師：平川秀幸(CO デザインセンター 教授)

オンライン 2月中旬

〈キーワード〉萌芽的科学技術、知識の不定性、倫理的・法的・社会的課題、科学技術コミュニケーション、リスクコミュニケーション、研究のアウトリーチ、責任ある研究・イノベーション

〈概要〉人工知能など情報科学技術、脳科学やゲノム科学などの生命科学をはじめとする先端科学技術の研究開発が社会にもたらすインパクトは、これからますます大きくなり、その中には、人間・社会にとっての恩恵だけでなく、健康や自然環境に対する悪影響のリスクや、さまざまな倫理的・法的・社会的課題も含まれています。これらの問題に対処していくには、研究者だけでなく、一般市民まで含めた社会の多様なステークホルダーとの対話や共考を中心としたコミュニケーションを研究開発の早い段階（萌芽的段階）から丹念に繰り返し、取り組むべき課題の発見と検討、科学技術についての理解の醸成、信頼構築に努めていく必要があります。本研修では、そうした萌芽的科学技術に関するコミュニケーションのデザインの考え方の基本について、講義とグループワークを通じて一緒に考えます。

《問合先：全学教育推進機構等事務部(CO デザインセンター総務担当)》
<http://cscd.osaka-u.ac.jp/> [✉ zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp)



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

※掲載内容は8月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンド」(FD関係)にてご確認ください。





社会学連携能力 開発プログラム

映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説

講師：松永和浩(適塾記念センター 准教授)

オンライン 10月～3月(随時)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画『洪庵と1,000人の若ものたち』に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大学の歴史を社会に発信できる人材を育成する。

【プログラム】

- ・映画『洪庵と1,000人の若ものたち』の鑑賞 50分
- ・映画の解説(松永 和浩) 40分

《問合先：共創推進部博物館・適塾記念センター事務室総務係》[✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 産業科学研究所のみ対象

プレスリリース講習会

講師：未定

吹田 未定

〈キーワード〉プレスリリース

〈概要〉プレスリリースの種類、プレスリリースを行う際の流れを学びます。

《問合先：産業科学研究所 広報室》[✉ kouhou-staff@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:kouhou-staff@sanken.osaka-u.ac.jp)》



新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：野村玄(文学研究科 准教授)

適塾 **アイスボック** 未定(2～3月頃)

〈キーワード〉適塾、適塾見学会、映画、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

【プログラム】

- ・新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を辿る～@適塾 90分

《問合先：共創推進部博物館・適塾記念センター事務室総務係》[✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》



適塾から受けつぐレガシー – 歴史・精神・文化財 –

講師：野村玄(文学研究科 准教授)

島田昌一(医学系研究科 教授)

松永和浩(適塾記念センター 准教授)

吹田 未定(2～3月頃)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉緒方洪庵が開いた適塾・除痘館から大阪大学につながる歴史的事実を確認し、洪庵・適塾の教育・研究から阪大に連なる精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを説明します。

【プログラム】

- ・適塾から大阪大学へ 45分
- ・緒方洪庵・適塾の教育・研究 45分
- ・文化財としての適塾 松永 和浩

《問合先：共創推進部博物館・適塾記念センター事務室総務係》[✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

限定 工学研究科のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：青木伸一(工学研究科 教授)

吹田 10月9日 13:30-14:30、11月9日 13:30-14:30

〈キーワード〉コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉工学研究科対象教職員および新任教員に対して50分程度の講義ののち、質問を受け付けます。

《問合先：大学院工学研究科総務課コンプライアンス推進室》[✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》



新入教職員安全衛生講習会

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 准教授)他

オンライン 10月

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条(雇入れ時等の教育)に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てます。

《問合先：総務部安全衛生管理室推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井伸次(環境安全管理センター 准教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法を習得する。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合先：総務部安全衛生管理室推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉実験系廃液、排水の取扱い

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。

《問合先：総務部安全衛生管理室推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。

《問合先：総務部安全衛生管理室推進第一係》[✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱いなど安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

※掲載内容は8月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD関係)にてご確認ください。

定員

受講時間

使用言語

研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

详解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



高压ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

オンライン 10月

〈キーワード〉高压ガス、液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高压ガスや高压ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



高压ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

オンライン 10月

〈キーワード〉高压ガス、液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高压ガスや高压ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



大阪大学高压ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

オンライン 10月

〈キーワード〉高压ガス管理支援システム(OGCS)

〈概要〉高压ガスを取り扱う教職員で大阪大学高压ガス管理システム(OGCS)を使用する教職員が使用方法を習得する。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 准教授)

オンライン 10月

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得します。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》



ハラスメント防止等に関する研修会

講師：未定

豊中 10月～11月(日時未定)

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉ハラスメント問題(テーマは未定)

《問合せ先：総務部総務課法規係 [✉ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 文学研究科のみ対象

2020年度 ハラスメント防止研修会

講師：濱田綾(ハラスメント相談室 助教)

豊中 11月12日 17:30-19:00

〈キーワード〉セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、相談、解決

〈概要〉まず「ハラスメント」の基本と現状について学び、その後、具体的な事例をもとにグループワークを行う。最後に、問題解決のための議論と整理を行う。

《問合せ先：文学研究科・庶務係 [✉ bun-souhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bun-souhaku-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



大学におけるキャリア教育・就職支援の現状と課題

講師：家島明彦(キャリアセンター 准教授)

オンライン 11月19日 12:15-13:15

〈キーワード〉キャリア教育、就職支援

〈概要〉キャリア教育と就職支援の違い、わかりますか？本セミナーでは、日本キャリア教育学会の常任理事も務める講師が「キャリア教育とは何か(就職支援との違い)」について説明します。参加者は、大学におけるキャリア教育・就職支援の現状と課題、大阪大学の取組事例について学びます。

《問合せ先：キャリアセンター [✉ fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《受講申込： https://zoom.us/webinar/register/WN_hYkR-_utSAaTAdYTkfcONg》



申込はこちらから▶



限定 言語文化研究科、及びマルチリンガル教育センター構成員のみ対象

言語文化研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

豊中 11月19日 15:10-15:40

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉ハラスメント防止に係る講演を行います。

《問合せ先：言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係 [✉ genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研防災安全講習会

講師：未定

吹田 **オンライン** 11月頃

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉学生・教職員を対象に防災などに関連する安全な取扱いに関する知識に基づく適切な管理方法を習得できる講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所庶務係 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月5日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD関係)にてご確認ください。

